

## Xreading (Virtual Library) の利用について

外国語ラボラトリーでは、Xreading (Virtual Library) を導入しています。Xreading は、数百冊の英語リーダーズ（電子ブック）をパソコンやモバイル端末で場所や時間を選ばず利用できる多読教材システムです。教員は申請することで、授業クラスの課題教材として利用することができます。

学生は申請することで、自学習教材として自身のレベルにあったタイトルを自由に選択し利用することができます。



### ○利用にあたって（教員の方へ）

- ・課題教材として利用を希望される場合は、外国語ラボラトリー宛メールにて以下の情報をお知らせください。  
⇒ [flweb@aoyamagakuin.jp](mailto:flweb@aoyamagakuin.jp)
- ・折返し利用方法をご案内します。
- ・複数学部(○○学部と△△学部)の学生が混在した授業クラスは、システムの制約によりご利用頂けません。
- ・**夏期休業期間(8月～9月中旬)及び冬期休業期間(12月下旬～1月初旬)は案内できない場合がありますので、なるべく授業期間中に申込みください。**
- ・使用期間は4月から翌年3月末日までです。次年度分については4月以降に改めて申請ください。

#### <お知らせ頂く情報>

・メールのタイトル： Xreading 課題利用希望（教員氏名）

- ① 氏名（フルネーム）： 漢字及びローマ字氏名
- ② 授業クラスの所属学部： ○○○○○部
- ③ 曜日、時限、科目名： 月1限○○○○○



### ○利用にあたって（学生の方へ）

- ・自学習教材として利用を希望する場合は、外国語ラボラトリー宛メールにて以下の情報をお知らせください。
- ・前年度利用者も年度切替時点で改めて申してください。  
⇒ [flweb@aoyamagakuin.jp](mailto:flweb@aoyamagakuin.jp)
- ・折返し利用方法をご案内します。
- ・**夏期休業期間(8月～9月中旬)及び冬期休業期間(12月下旬～1月初旬)は案内できない場合がありますので、なるべく授業期間中に申込みください。**
- ・使用期間は4月から翌年3月末日までです。次年度分については4月以降に改めて申請ください。



#### <お知らせ頂く情報>

・メールのタイトル： Xreading 自学習利用希望(ローマ字氏名)

- 1) 所属学部： (例)国際政治経済学部
- 2) 学生 e-mail アドレス： (例)[○○○○○○○○@aoyama.jp](mailto:○○○○○○○○@aoyama.jp)
- 3) 学生番号： (例) 11234567
- 4) 学生氏名(ローマ字)： (例) sibuya taro
- 5) 学生 PC ログインアカウント： (例) a○○○○○○○
- 6) 前年度または授業の課題などで Xreading を利用したことがある（利用したことがある or ない）

